

謹賀新年

立教185年



発行

天理教本愛大教会

〒453-0821
 名古屋市中村区大宮町 1-60
 TEL (052) 461-4326
 FAX (052) 461-4320
 〒632-0071
 奈良県天理市田井庄町 19-1
 TEL (0743) 62-0378
 編集責任 広報部

春季大祭執行

1月13日

午前10時

本愛大教会

立教185年 年頭あいさつ

本愛大教会長

安藤 吉人

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は本愛大教会の活動の上にたくさんの方の真実を寄せていただき、誠にありがとうございました。

昨年は六代会会長就任奉告祭をつとめさせていただき、

「喜びの旬 おたすけの日々 楽しみの道」との活動目

標を掲げて、取り組んでまいりました。

今年は、2年後に迎える本愛大教会創立110周年に向かって「今日を陽気に。」と、本愛に繋がるひとり一人が、生かされている喜びに満ち溢れ、ご恩奉じの心をもって、一日一日を陽気に通り、人を勇ませ、通らせていただきたく存じます。

私自身も、おつとめ、おたすけ、ひのきしんに心を込めてつとめ、親神様、教祖、祖霊様にお喜びいただけるように通る決心でございます。

何卒、本年もよろしく申し上げます。

現代に生かす

「用木の道」

文・安藤吉人



如きを出し惜しみと

いう

身惜しみ 我が身に

てするべきことを言

葉にて人を使う心を

身惜しみという

骨惜しみ 我が骨を

折つてするべきことを人に骨

をおらし、例えば5人に50

のするべきことを当てたとき

我が身にて5つくらいをして

後の残りを他4人の者にさせ

ることを骨惜しむという

恨み 金銭縁談を無理非道に

すべて繋ぐこと、その繋ぎを

切り怨まれることを恨みとい

う

嫉み 人の出世勉強あるいは

繁盛することを、いまいまし

いと思ひ、また、人の善き行

いを良いと思わざる心を嫉み

というなり

憎気 男女互いに色情のこと

を疑うが如き心を憎気という

嫉妬 全て人と互いに妬み合

うことを嫉妬という

癩癩 腹を立てることでも、

その場にては左程に何事も無

く陰にて怒る心を癩癩という

かんでき 目下の者に表にて

怒ること

我が身と人との隔て 我が身

ほど可愛いものはない、それ

ほどに可愛い物なれば人の身

も同じく思へば良いなれども、

それほどに思わず。例えば、

美味しいものは我が身が食べ、

不味いものは人に食わそうと

する心を用う

我が子と人の子との隔て 我

が子ほど可愛いものはない、

人の心になれば誰も同じこと

なり。しかるに、それを思わず

人の子の理を理と思わず、我

が子の非を理と思ひ、例えば、

我が子と人の子と一緒にいる

ところにて、人の子に隠して

我が子に物品を与えたる心を

隔てという

悪口 人に対して悪いという

ことを知りて言わず、その人

のいないところへ他の人に聞

かすことを悪口という

仲言 人からある人の悪口を

聞き、その言われている人に

我が身が気に入られるために

告げること仲言という

笑 人の失敗を見たり聞いた

りして、気の毒だ、不憫と思

わないで、却っておかしがる

心を笑という

誹り 我が身に関係ないこと

でも、人の失敗や人の欠点を

探して、人に言いふらすこと

を誹りという

強欲 なんぼ足りていても足

ることを知らず、我さへよけ

れば、人はどうでもいい、倒

れてもかまわない。我が身に

つけよう取り込むことを強欲

という

重欲 人に払うべき金銭、支

払うべき金銭を出さず、払わ

ずして、そのお金を人に貸し

て利子を我が身に取る如き心

を重欲という

自慢 人に偉い人やと思わず

ために、我のしてきたことこ

との中で手柄らしきことを並

べ、それを上手なる嘘をまじ

えて、偉そうな顔をする如き

を自慢という

我慢 我が身が強いものや達

者なものやと思わそう見せよ

うと心にて無理に気張るを我

慢という

高慢 人を抑えて我が身が上

ろうとして、知らぬことを知

ったふりをし人に頭を下げる

ことをしない心を高慢という

1月のこよみ

元旦祭

1日 午前5時

よふき会初例会

2日 午前10時

教会長年頭連絡会

12日 午後1時30分

春季大祭

13日 午前10時

青年会初例会

13日 午前10時

布教実修所

14日 午前10時

むつみ会初例会

16日 午前10時

ほんあいOKEIKO

16日 午前10時

こども食堂MOGU

17日 午後5時

婦人会初例会

20日 午前10時

こはる会初例会

20日 午前10時

女子青年初例会

20日 午前10時

安藤治正二代会長50年祭

24日 午前10時

本部春季大祭

26日 午前11時30分

婦人会創立記念の日

28日

安藤治正二代会長50年祭

29日 午前11時

(於大教会祖霊殿)

教理随想

言わん言えんの理を探る



新型コロナウイルスの終息が未だ見通せない中で新春を迎えました。それでも日本では感染者数の減少傾向が続いていますので、お正月休みを利用して多くの人が各地を往来し、賑やかな光景が広がることでしょう。

一方お道では、正月といえは教祖がお姿を隠された尊い月ですので、教祖の思召を改めて深く思案するべき大切な時旬になります。

教祖は天保九年十月、四十一歳の時に月日のやしらにお定まりになって以来、ひたすら万人たすけの日々

をお通りになり、明治二十年正月に現身をお隠しになりました。この間の五十年に及ぶ道すがらを教祖ひながたの道といえます。

具体的に見ると、天保九年までは富裕な農家であった中山家の財産を、立教以降は近在の人々に施し続けられ、果ては食べ物さえなくなるという貧のどん底を過ごされました。また教祖が霊救を現すということから、神官や僧侶から攻撃されたことは一度や二度ではありませんし、後年にはお屋敷へ人を集めておつとめをしたという理由で何度も監獄に拘留されました。このひながたの道は教祖伝に記されているのでよく承知しているところです。

では実際に、現代の世の中で「ひながたを辿る」とは何をどうすることなのでしょう。まず大事なことは、形を真似ることではないという点です。

教祖はひながたの前半、約二十五年にわたって貧のどん底をお通りになりましたが、ただ物やお金のない生活をすることだけがひながたの道ではありません。教祖が教えてくださったのは「心の執着を取る」ことです。それは金品への執着のみならず、名誉や立場、あるいは心の癖についても執着を放さなくては陽気ぐらしはできないことを明示されているようにも悟れます。

もちろん良い意味でのこ

だわりや粘りは大切ですが、自己中心的な心が強くなると、いつしかほこりや執着となって心にこびり付いてしまう。そうならないように、日頃から「八つのほこり」を払う習慣を身に付け、低い心でどんな中でも喜びを見出す力を付けることが、ひながたをたどる根本精神であるといえるでしょう。

■喜びを導き出す公式

また人は誰でも自分の主義や主張を持っています。それは一面大事なことです。が、そのために人にほこりを積ませたり、人間関係がこじれるようでは、陽気ぐらしを望まれる教祖のお心から遠ざかってしまいます。そこで一つ一つの場面でひながたを思い起こし、「教祖ならどうされるだろうか」を判断基準として柔軟な心で対応する。こうした心の使い方が重要です。

たとえば、数学の試験で応用問題が出題されたとき、適切な公式を順序よく当てはめていけば必ず問題は解けるのですが、当てはめ方を間違えると解けません。これと似ているように思います。

眼前に現れるさまざまな問題、中でも特に身上や事情の節に際して、教祖ひながたという公式をいかに当てるか。もちろん公式を知らなくては当てはめることもできないので、しっかりと教祖伝を読み込み、親心を味わいながら問題を解いていく努力がひながたを辿る道につながります。そして導き出された答えが、ありがたい、もったいない、という喜びであれば、存命の教祖もお喜びくださるに違いありません。教祖が現身を隠された親心に思いを深めて日々を陽気に歩んでいきましょ。

【第 85 回】

ひながたの道を判断基準に 信仰の喜びを味わい育む旬

二代会長

安藤治正様 五十年祭執行

1月29日午前11時 於大教会祖霊殿

「日帰りひのきしん隊」

延べ14人が参加

青年会

青年会本愛分会では11月19、20の両日、おどばで開催された「特別ひのきしん隊」に参加(写真)。コロナ禍のため1日限りの受け入れとなっている「日帰りひのきしん隊」に計2日間で委員ら延べ14人が実動し、樹木の伐採などに伏せ込みの汗を流した。



実動中、中山大亮・青年会会長が巡視され一同にねぎらいの言葉をかけられた

女子青年こかん様に続く会

本愛女子青年は11月21日、「第42回こかん様に続く会」を大教会で開催。約18人が参加し、さまざまなプログラムで教理を学びつつ親交を深めた。

11月の初席者

- | | |
|------|-------|
| 本今村 | 石橋 暁 |
| 本愛岳 | 川口 直人 |
| ” | 金子 実希 |
| ” | 金子 琳 |
| 以上4名 | |

総会開催

婦人会本心委員部(長江まどか委員長)では、11月28日午前10時より、安藤くみ子・本愛支部長を迎えて、同分教会において「第60回婦人会総会」を開催した。

婦人会本枇杷島委員部(青木奈美子委員長)では、12月5日午前11時より、安藤くみ子・本愛支部長を迎えて、同分教会において「第23回婦人会総会」を開催した。

本徳分教会四代会長

相原清吉之霊の二十年祭 本徳分教会五代会長 相原とし子之霊の一年祭

本徳分教会では11月21日午前11時より、四代会長・相原清吉之霊の二十年祭、並びに五代会長・相原とし子之霊の一年祭が同分教会で行われた。

おめでた

杉下貴道さん(29)(本愛岐分教会長・杉下和平氏長男)は、秋吉ひなさん(25)との縁談相整い、去る12月12日、本愛岐分教会において、夫婦固めの盃をかわし華燭の典を挙げた。

大教会日誌

令和3年11月25日～令和3年12月24日

11月

26日 本部月次祭

30日 常任役員会議◇役員会議

12月

1日 入社祭

祭主・大教会長 扨者・大橋進、山神茂彦

指図方・板山公司 賛者・大池美公雄、久保真樹

2日 よふき会例会

おつとめ・十二下りてをどり

12日 常任役員会議

13日 月次祭

祭主・大教会長 扨者・大倉八郎、和光重男

指図方・板山公司 賛者・津田豊郎、安井篤

◇祭典講話—中島功雄

◇大教会長挨拶

14日 布教実修所

おはなし会

16日 むつみ会例会

こはる会例会

17日 こども食堂MOGU (参加者53人)

19日 女子青年例会

ほんあいOKEIKO (参加者20人)

20日 婦人会例会

おつとめ・十二下りてをどり・大掃除